

平成30年度業務実績報告書<概要>

資料3

中期目標		年度計画	実績	該当 頁数	法人 自己 評価	評価委員会意見欄	H28評価 (参考)	H29評価 (参考)
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置								
1 地域医療を支える要としての静岡病院								
(1) 広大な市域を支える要としての活動	市民や生徒に対し「医療」に関する情報の発信及び理解の促進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校で「がん教育」に関する授業の実施（8校） 第15回静岡病院フェアの開催（来場者数約530人） 「静岡市民『からだ』の学校」の開催（市街地2回、山間部3回） 夏休み期間に中高生向けセミナー等の開催（中学生ブラックジャックセミナー、高校生こころざし育成セミナー、中高生1日ナース体験） 	8	3		3	3	
(2) 救急医療	365日24時間の「ことわらない救急医療」を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送患者数の受け入れ実績は市内公的病院の中でトップを維持（救急搬送患者数 6,180人） 重症な患者を多く受け入れていることを示す「救急医療係数」は、県内DPC特定病院の中で一番高い実績 	10	3		3	3	
(3) 高度医療	ハートセンターにおける実績の高い「心臓疾患」治療や、手術支援ロボット「ダヴィンチ」等による質の高い「がん」治療を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ステントグラフト、TAVIなどを用いた先進的な心臓・血管疾患の治療の提供 PET/CTや「ダヴィンチ」等の高度な医療機器を生かし、手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的ながん治療の提供 導入2年目のPET/CTが順調に稼働（PET検査件数804件） 	12	4		4	4	
(4) 政策医療	感染症患者への医療提供体制の維持、周産期医療の安定的な提供、生活習慣病への対応に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 各機関と合同で、情報伝達訓練や感染症患者発生を想定訓練等の実施 母体合併症などのハイリスク症例の実施 栄養士による食事指導（4,107件）などを実施 	15	3		3	3	
(5) 災害時医療	災害を想定した訓練等の実施や備蓄等の確保、DMAT隊の編成など非常時に備える。	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県防災訓練（静岡市開催）の参加、院内防災訓練（年2回）の実施 非常用発電機用蓄電池の更新や設備の点検、水や食料の補充 政府主導の大規模地震時医療活動訓練に当院DMAT隊の参加 	18	3		4	3	
2 医療の質の向上と人材の確保								
(1) 総合的な診療とチーム医療の実施	それぞれの職種の専門性を生かしたチーム医療を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム(回診78件)、緩和ケアチーム(74件)、褥瘡対策チーム、呼吸サポートチームなど、院内チーム医療による質の高い医療を提供 新たに活動開始した認知症ケアチームによる病棟ラウンドの実施(132件) 	20	4		3	3	
(2) 先進医療機器や設備の整備	医療機器・施設について、稼働状況及び対応年数などを踏まえて、適宜、整備・更新を行う。	<ul style="list-style-type: none"> アンギオグラフィ（血管撮影装置）増設に向けた改修工事を開始 モバイルCTの臨時設置など稼働体制を維持しつつCT2台を新機種へ更新 	22	3		3	3	
(3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上	柔軟な勤務体制の整備や看護師の安定的な採用、職員への資格取得支援、実習生の受け入れなどを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 各職種において採用試験を随時開催し必要職員を採用 専門医（180件）、指導医（85件）、認定看護師の資格取得の支援の実施 7対1看護配置に向けた看護師増員数は92人（目標値90人(H25比)） 	23	3		4	3	
(4) 臨床研修医の育成	臨床研修医にとって魅力ある職場環境を示し、臨床研修医の採用及び育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> レジナビフェア（5回）等、リクルートイベント（計8回）参加 臨床研修医13人フルマッチング(申込31人)、専攻医7人採用(前年比3人増) 研修医に対するアンケート調査では満足度96%の結果 	25	4		4	4	
(5) 調査・研究、治験の実施	臨床研究や治験に積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 治験実施に向け、委員会による審査、法改正に対応したマニュアルの作成、院内周知のための講演会の開催などを実施 	27	3		3	3	
3 医療の安全性と信頼性の向上								
(1) 十分な情報提供と適切な取扱い	インフォームドコンセントの徹底やセカンドオピニオンの実践、患者友の会との交流に努める。	<ul style="list-style-type: none"> インフォームドコンセント等のガイドラインを新たに作成 セカンドオピニオン外来での対応実績（受入23件、紹介64件） 患者友の会の講演会に医師が講師として出席 	28	3		3	3	
(2) 医療安全管理等の徹底	医療安全管理や院内感染対策について、各委員会を中心に、院内研修会の実施、マニュアル等の周知徹底・啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全研修会、不参加者のための同ビデオ上映会を実施（9日間67回） 転院患者から多剤耐性アシネトバクターが検出された事象では国立感染症研究所から専門家を招き検証、蒸気化過酸化水素による空間殺菌、再発防止策を実施 	31	3		3	3	
(3) 市民への積極的な広報	ホームページの全面リニューアルを実施し、病院の情報をわかりやすく掲載、随時更新する等、利用者にとって使いやすいホームページの運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの全面リニューアル（スマートフォン対応含む）を実施 ホームページ更新頻度の向上のため各所属職員がコンテンツの更新ができるよう、操作マニュアルの配付、教育を実施 	33	3		3	3	
4 利用しやすい快適な病院づくり								
(1) 患者第一の病院づくり	病院の基本理念、患者の権利の実践として、常に患者の立場を意識しながら医療サービスを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 産婦人科病棟の改修や個室トイレの設置など、患者からの要望の多い整備事項を優先的に実施 院内のフロア案内図など掲示物の見直しの実施 	35	3		3	3	
(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供	患者満足度調査等による患者ニーズの把握、その改善に努める。待ち時間対策の実施、安らぎの空間の提供や接遇研修の実施などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 患者ニーズの多かった療養環境の整備や待ち時間の改善に取り組んだ結果、患者満足度調査（平成31年2月）の実績は89.9%（前年度比1.2ポイント増） 	36	3		3	2	
5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流								
(1) 市立病院としての市との連携	市と連携し、計画の策定及び実行、評価に基づく改善などPDCAサイクルによる経営管理を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度業務実績、第1期期間業務実績見込みについて市の評価を受けるとともに、法人内部（理事会など）へ周知 市から中期目標の指示を受け、第2期中期計画（R1～4）の策定 	39	3		3	3	
(2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携	医療連携システムの活用等により、病診連携・病病連携を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットやイーシーイーネットの活用など診療所等との連携 紹介率、逆紹介率は目標値を大幅に上回る結果（紹介率77.2%、逆紹介率115.0%） 	40	4		4	4	
(3) 国内外医療関係機関との交流	自治体病院学会等へ参加するなど、国内外の医療機関等とも交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 中国河南省の代表団（医師や看護師等14人程）、県外病院の視察受け入れ 自治体病院学会、DPC勉強会、診療報酬改定研修や事務情報交換会等へ参加 全国自治体病院協議会、全国公立病院連盟など会合への出席 	42	3		3	3	
大項目評価（第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置）							A	B

平成30年度業務実績報告書<概要>

資料3

	中期目標	年度計画	実績	該当 頁数	法人 自己 評価	評価委員会意見欄	H28評価 (参考)	H29評価 (参考)	
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置								
	1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり								
	(1)働きやすい職場環境の整備	長時間労働の改善に向けた変形労働時間制の導入など、「働き方改革」の推進に向けた取組みを継続し実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 変形労働時間制など、医師等の総労働時間縮減に向けた取組みの実施 全職員対象のストレスチェックの実施 暴力暴言等対策研修やハラスメント防止研修の実施 	43	3		3	4	
	(2)職員のやりがいと満足度の向上	職員の意欲向上などを図るため、職員間のコミュニケーションの活性化及び情報共有の推進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 全国自治体病院学会in福島での演題発表（発表者18人） 院外（テルモ）での多職種合同研修、医療学術集談会、看護研究発表大会、多職種連携推進会議などを実施 	45	3		3	3	
	2 業務運営体制の構築								
	(1)医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築	外部環境の変化などに迅速に対応するため、適宜、組織体制を弾力的に改組する。	<ul style="list-style-type: none"> 病院運営に関する事業の方針の検討立案のため「経営戦略室」を設置 CT更新、電子カルテ更新など経営戦略に係る会議を開催（全22回） 	47	3		3	3	
	(2)市民との連携・協働による病院運営の実施	ボランティアや地元自治会など、市民との協働による病院運営を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域において、自治会との共催で「からだの学校」を開催 院内ボランティアによる患者誘導などを実施 学生による院内コンサート及びフラワーアレンジメントを実施 	49	3		3	3	
	(3)外部評価等の活用	医療の質改善を図り、日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を受ける。適正な会計処理を確認する「監事監査」等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 「病院機能評価」受審、前回（5年前）と比較し高い評価を受け更新認定 監事による決算監査、外部アドバイザーによる経営改善指導を実施 	51	3		3	3	
	(4)事務部門の強化	事務職員のプロパー化を計画的に進める。	<ul style="list-style-type: none"> 病院経験者を計画どおり採用したが、管理職としての配置には時間を要することや、他の先行独法の動向を踏まえ、市と協議した結果、派遣職員の削減を見直すこととし、法人職員への切替率を62.5%とした。 	53	3		3	3	
	(5)法令の遵守等	医療法などの関係法令や法人の各規程等を遵守するよう職員へ周知徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 保健所の立ち入り検査等を通じて遵守事項の再検討、改善 ウェブサイト等への規制強化に対応し、ホームページ上の表現等を修正 	55	3		3	3	
	大項目評価（第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置）							A	A
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置								
	1 健全経営の維持								
	(1)安定的な経営の維持	収入の確保、費用の節減に努め、法人として安定的な経営を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> 医業収益は前年度に比べ5億9,100万円増の183億9,600万円となり、今年度収支は6,600万円の黒字を達成することができた。 	56	4		4	2	
	(2)収入の確保、費用の節減	患者の確保、診療報酬改定への的確な対応や、材料費など費用の抑制に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 〔収入の確保〕 入院単価77,066円（前年比961円増）、外来単価18,196円（前年比67円増） 患者確保に努め、入院患者数は167,789人（前年比4,861人増）、病床利用率は90.8%と前年度実績を上回る結果 査定減対策として、高額査定された内容の検証、具体的な請求方法の指示、再審査請求の推進など、査定減対策などの強化を実施 〔費用の節減〕 後発医薬品の切り替えは後発医薬品指数87.0%、目標値を上回る結果 薬品費の抑制のため市場調査の価格に基づく薬価交渉を実施。外部アドバイザー同席のもと交渉を実施（交渉回数10回、値引率14.75%） 	58	4		4	3	
	(3)計画的な投資の実施	医療機器や施設整備等を計画的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 各診療科からの整備計画などを参考に医療機器等を更新 個室トイレや洗面台、二重サッシなど産婦人科病棟のリニューアルを実施 	62	3		3	3	
	大項目評価（第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置）							A	C
第4	その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置								
	1 地球環境に配慮した病院運営								
		環境負荷の少ない機器の購入など、地球環境に配慮した病院運営に努める。	<ul style="list-style-type: none"> LED照明への切り替えを順次実施 温水ポンプの制御機能の改修 ゴミの減量のため薬剤や文具等の包装紙箱を雑紙とする等、積極的な分別収集の実施 	64	3		3	3	
	大項目評価（第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置）							A	A